

## ホットな話題

AKITAKATA  
My Town Topics

このコーナーは市内のいろいろな出来事を紹介するコーナーです。皆さんの身近な出来事をお知らせください。

◆連絡先  
安芸高田市 政策企画課  
TEL 42-5612  
〒731-0592  
安芸高田市吉田町吉田791番地  
E-mail info@akitakata.jp



### 最期まで笑顔で生き抜く 安芸高田市在宅医療推進フォーラム

このフォーラムは、住み慣れた地域で最期まで笑顔で生き抜くための在宅医療支援体制を構築することを目的として、9月6日(土)クリスタルアージョで開催されました。特別講演として、岐阜県の医療法人聖徳会小笠原内科の小笠原 文雄さんが「小笠原先生、ひとりで家で死ぬますか?」というテーマでこれまで経験された色々な事例の報告をされました。また、シンポジウムでは、在宅医療に関わる6名の方がそれぞれの立場から現状や課題の報告をされた後、意見交換を行われました。



### 大切に育てられた牛が集結 第71回安芸高田市畜産共進会

8月29日(金)、高宮にある広島北部農協家畜集合施設で開かれ、21頭が出品されました。どの牛も大きく立派で、黒く輝くような毛つやをしており、丹精込めて飼育された牛ばかりでした。審査は黒毛和種子牛の部、成牛の部の各部門に分かれて行われ、優秀賞、優良賞が決定されました。優秀な牛は県大会への参加候補になります。優秀な牛の講評のほか、良い牛に育てるための注意点などの指導もあり、もっと良い牛に育てようと畜産農家の方々は熱心に話を聞かれています。



### 安芸高田の神楽を見て、体験してみよう 神楽出会いプロジェクト

市内の多くの児童が神楽に取り組んでいる一方、大半の児童は神楽に接する機会が限られています。安芸高田の誇りである神楽に興味を持ってもらうため、9月8日(月)神楽ドームで市内全小学校の6年生が神楽を体験する取り組みが行われました。神楽鑑賞はもちろん、団長や団員の指導により神楽で使う面や衣装などの試着が行われました。特に大蛇の試着では、大蛇の動きが際立つ仕掛けがあり、指導を受けながら動かしてみると、児童らはびっくりしながらも目を輝かせていました。



### 安芸高田市からの入賞・入選作品を展示 第二回新県美展 巡回展

9月3日から9月7日まで、8月号で紹介しました入賞作品をはじめ、安芸高田市・山県郡の入選作品が展示されました。今年は向原生涯学習センターみらいではじめて開催され、初日から多くの方々が来場されました。地元の作家の作品を目当てに来場された方も多く、作品を前に「思っていた以上に作品が大きくて圧倒される」、「色づかいがとてもきれい」、「中々見られない良いものを見せてもらった」などと話され、満足そうにされていました。



### 教科書を使う学校の授業とは違う学び なつやすみ子ども教室

長い夏休み、なつやすみ子ども教室として科学研究・折り紙・竹馬作り・水彩画・書道・ロボット作り・クラフト教室・工場探検など16の教室が開かれました。8月27日(水)には、「たたき染めでオリジナルアート」の教室が開かれました。たたき染めは、布の上に水に浸した草花を置いて和紙の上からたたいて色を布に移すものです。参加者は好きな草花を選び、慎重に位置を決め、夢中でたたいていました。最後は手作りの木枠にはめて完成しました。



### 安心で誰もが安全に暮らせる地域づくり 生桑振興会の竹木粉碎の取り組み

生活道や河川敷に繁茂する竹木の倒伏が、交通や流水を妨げるという地域課題を解決するため、生桑振興会では、県の地域課題解決支援事業の認定を受け、竹木粉碎機を導入した新たな取り組みを開始されます。9月6日(土)に機械操作の研修が行われました。大きな竹木でも粉碎機に投入すると瞬く間に粉々になります。振興会では、竹木を地域住民が伐採・粉碎し、これを堆肥に加工して販売するという事です。景観の改善と合わせて地域の新たな収入にもつながると期待が高まっています。



### 絵本だけが持っている力がある 子どもが笑顔になる読み聞かせ講座

8月30日(土)、クリスタルアージョで広島県子ども読書連絡会会長の小林 いづみさんを講師に迎えて、開かれました。先生は、「絵本にしかできないこと、絵本だけが持っている力を信じています。絵本の絵は動きませんが子どもは想像で動かし、たくさんの場面を空想します。子どもには大切なことです」と話されました。講座では、市内の2つの読み聞かせサークルが実演し、それに対する先生からのアドバイスもあり、実践的で中身の濃い内容に参加者は満足そうでした。